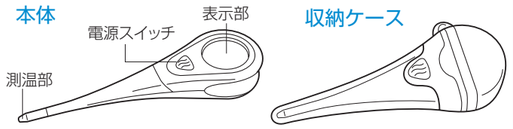
VICKS®スピード体温計 V911CJ/V965CJ 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく操作してください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

お使いになる前に、裏面に記載してある「安全上のご注意」を必ずお読みください。

※VICKS® はPROCTER & GAMBLE社の商標登録であり、電子体温計については米国KAZ社がライセンスを保有しております。当電子体温計は、KAZ社契約工場のONBO ELECTRONICにてライセンス製造されています。

パッケージに入っているもの



リチウム電池（CR2032×1 個）
※お買い求めのときは本体に入っています。

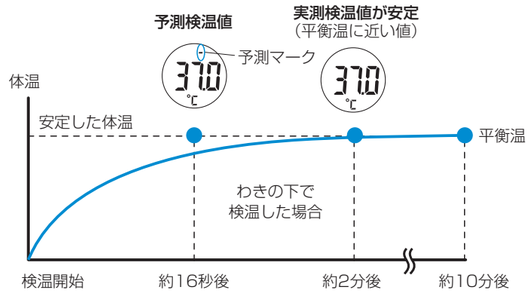
取扱説明書（本書、保証書は裏面にあり）

この電子体温計の特徴

- 約16秒で予測検温できます。
  実測検温はわきの下で約10分、口中（舌の裏側）で約5分です。
- 3 色のバックライトが点灯します。
  予測検温では体温に対応した色のバックライトが点灯します。
- 前回測った体温を使用前に表示します。
- 電源を切り忘れても、約12分後に自動的に電源が切れます。

16 秒で検温できる理由

安定した体温を測るためには、わきの下で約10分、口中で約5分かかります。
このスピード体温計は、本来ならば5～10分後に安定する体温を最新の技術と実験データをもとに16秒間の温度変化で瞬時に予測して表示することができます。

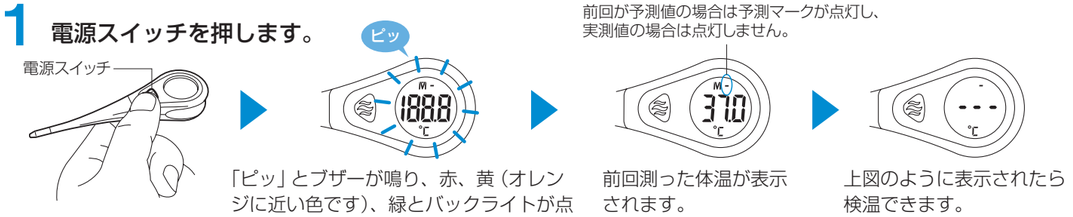


検温のしかた

注意 飲食後、運動後、入浴後、喫煙後の30分間は検温を避けてください。正確な検温ができません。

注意 室温が31℃以上の場合は、測温部をぬれたタオルなどで冷やしてから検温してください。

1 電源スイッチを押します。



「ピッ」とブザーが鳴り、赤、黄（オレンジに近い色です）、緑とバックライトが点灯してから上図のように表示されます。

前回が予測値の場合は予測マークが点灯し、実測値の場合は点灯しません。

前回測った体温が表示されます。

上図のように表示されたら検温できます。

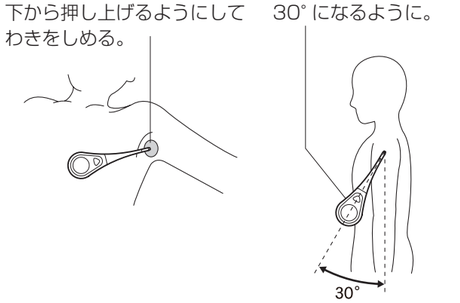
メモ●予測マーク：予測検温時には－が表示されます。実測検温時には-が表示されません。

2 体温計の測温部を測るところにあてます。

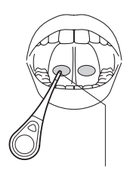
わきの下で測るとき
（実測検温・予測検温で測定できます）

測温部をわきの中央にあて、下から押し上げるようにしてわきをしめる。

身体と体温計の角度が30°になるように。



口中で測るとき
（実測検温のみで測定できます）



舌の裏側にある筋の左右いずれかに密着させる。

注意 密着させたあとは動いたり、体温計を動かしたりしないでください。

3 検温の流れ

A.予測＋実測検温を行う場合

予測検温開始

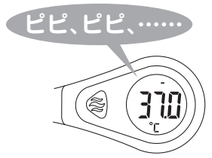
約16秒

注意 口中では予測検温を行わないでください。正しく測定できません。

予測検温中は℃が点滅します。

予測検温終了

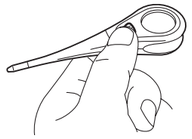
約1分間



予測検温が終了します。
温度に対応したブザー音が5回鳴りバックライトが点灯します。
体温計を取り出し検温値を確認してください。

メモ●実測検温を行う時は体温計を取り出さずそのまま検温を続けてもかまいません。

	ブザー音	バックライトの色
35.0～36.9℃	「ピピ」	緑
37.0～37.9℃	「ピピ」	黄（オレンジに近い色）
38.0℃～	「ピピピピ」	赤

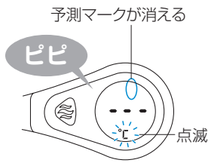


通常はこの時点で検温終了です。
電源ボタンを押し検温を終了してください。
より正確に検温をしたい場合は電源を切らずに1分間待ち実測検温を行います。

予測検温値は1分間表示され続けます。
測温部を測るところに当てておくと実測の検温時間が短くなります。

実測検温開始

約2分間



「ピピ」とブザーが鳴り、予測マーク-が消え実測検温が開始されます。
測温部を測るところにあててください。

メモ●実測検温開始してすぐは、予測検温値よりも低い温度が表示されることが多いです。

実測検温開始前から測温部を測るところに当てておくと検温時間は短くなります。

実測検温値安定

予測検温が終了

実測検温値が安定します。
温度に対応したブザー音が2回なります。
この時バックライトは点灯しません。
体温計を取り出し検温値を確認し、電源スイッチを押して検温を終了してください。

メモ●より正確に測定したいときは、さらに8分間 （実測検温開始から10分間）検温を続けてください。

メモ●電源を切り忘れても測定開始から約12分後に電源が切れます。

B.実測検温のみ行う場合

予測検温をとばして、すぐに実測検温を行いたい場合は下記の方法で検温をしてください。

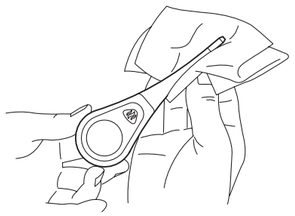
1. 測温部を測るところにあてます（2を参照してください。わきの下でも口中でも測定できます）。
2. 5秒程度経過したら測温部に密着させた状態で電源スイッチを押してください。
   「ピ」とブザー音が鳴り電源が入ります。
3. 測温部が暖まっていますので、すぐに「ピピ」とアラームが鳴り実測検温から予測検温に切り替わります。
4. 約2分後に検温値が安定しブザーが鳴ります。実測検温なのでバックライトの点灯はありません。
   メモ●より正確に測定したいときは、さらに8分間 （実測検温開始から10分間）検温を続けてください。
5. 電源スイッチを押し、検温を終了してください。

注意 連続して予測検温はできません。
測温部が暖まっていると予測検温は行わず、すぐに実測検温を開始します。
再び予測検温を行うには少し時間をおくか、ぬれた布などで測温部を冷ましてください。

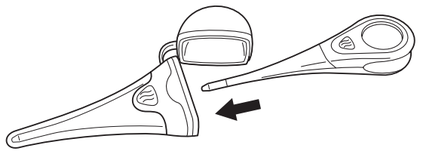
注意 わきの下と口中で結果を比べないでください。同じ人でも、わきの下と口中では0.2～0.5℃の差があります。

お手入れ

常に清潔にお使いいただくために、使用後はお手入れをしてください。



検温後は、測温部をティッシュなどで拭いてください。
口中での使用が多い場合は、脱脂綿に消毒用アルコールをしみ込ませて拭いてください。



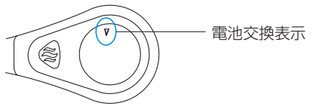
お手入れ後は収納ケースに入れて保管してください。
測温部にほこりや汚れが付着すると正しい検温ができなくなります。

注意 シンナーやベンジンは使用しないでください。

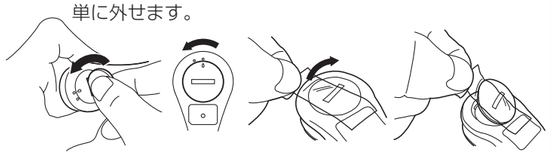
電池の交換

電池交換表示が出たら、電池を交換してください。

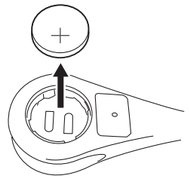
メモ●電池はリチウム電池(CR2032)を1個使用します。



1 コインなどで電池カバーを左に回して外します。電池カバーが外れにくいときは電池カバーを左に回した後、電池カバーにガムテープ等を貼り付けて、はがすことで簡単に外せます。

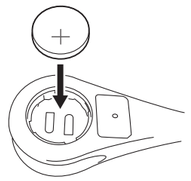


2 古い電池を取り出します。電池が外れにくいときは、つまようじをすきまに差し込んで外してください。



注意
金属製のピンセットやドライバーなどは使用しないでください。

3 +を上にして新しい電池を入れます。



4 電池カバーを取り付けてください。

注意 使用済みの電池は、+極と−極をセロハンテープで絶縁し、お住まいの地方自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

故障かな?と思ったら

現　象	原　因	処　置
検温するたびに、温度の数値が違う	体温は、時間帯、気温、睡眠、感情などの要因で常に変動しています。	
検温表示が低めに出る	体温計の測温部が正しい位置に密着していない	「検温のしかた」を参照して、検温し直してください。
	体が冷え切っていたため、脇の下の温度が低くなっている	
	体温計が冷えている	体温計が常温になってから検温し直してください。
Loと表示される	測定値が35℃未満	「検温のしかた」を参照して、検温し直してください。
Hiと表示される	測定値が42℃を超えている	「検温のしかた」を参照して、検温し直してください。
		電源スイッチを切って先端の測温部を2、3秒間冷水につけて冷やしてください。 水気を拭き取り、すぐ検温し直してください。
電源スイッチを押しても何も表示されない	電池の+−の向きが間違っている	電池を正しく入れ直してください。
▽が表示される	電池が消耗している	新しい電池と交換してください。
Er.1と表示される	予測検温中に体温計を動かした	検温中は体や体温計を動かさないようにしてください
	予測検温中に測温部を正しくわきの下にはさんでいない	「検温のしかた」に従って、正しく検温してください
	予測検温で体温計を差し込む前に測温部が皮膚に触れた	
Er.2と表示される	故障している可能性がある	販売店または弊社までご連絡ください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

熱の有無だけで体の状態を判断しない
容態など気がかりな点がある場合は、医師にご相談してください。

電池、電池キャップなどの部品は、乳幼児の届かないところに置く
乳幼児が誤って飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談ください。

わき、口内以外では使用しない
正しく検温ができません。また、わき、口内以外でのご使用はけがの原因になります。

⚠注意

本体が水などでぬれた状態で測定しない、また、水が本体内部に入らないようにする
検温値に誤差が生じたり、正しい検温ができません。また、本体は防水ではありませんので、故障の原因になります。

分解や修理、改造をしない
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

乳幼児の手の届かない所に保管する、また、お子様だけでの使用はさける
誤飲やけがの原因になります。

電池は+−を間違えてセットしない
漏液、発熱、破裂などを起こし、本体を破損させる原因になります。

強い静電気や電磁波のある場所で使用しない
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

車の中や直射日光のあたる所など高温になる場所、氷点下になる場所、湿気の多い場所に保管しない
故障の原因になります。

お手入れの際、シンナーやベンジンを使用しない、また、超音波洗浄をしない
故障の原因になります。

口内では予測検温は行わない
検温値に誤差が生じる原因になります。

仕様

販売名	VICKSスピード体温計	重量	22g
型式	V911CJ/V965CJ	外形寸法(mm)	長さ118　幅35　厚さ16 mm
種類	予測・実測式	保管条件	−20〜60℃
検温部位	ワキ下　口中	使用条件	10〜40℃
電池寿命	毎日2回、計24分間使用した場合、約14ヵ月	付属品	収納ケース　電池 CR2032 保証書付き取扱説明書　添付文書
温度範囲	35.0〜42.0℃		
体温表示	3桁+℃表示、0.1℃毎	電源電圧	3V CR2032
温度精度	±0.1℃ (温度範囲内　標準室温恒温水槽で測定した場合)	医療機器認証番号	219AGBZX00129000
		電撃に対する保護	内部電源機器　B形機器

本商品はEMC規格(電磁気両立性)に適合しています。(IEC60601-1-2:2001)

保証書

型式	V911CJ/V965CJ	持込修理	
お買い上げ日	年　月　日	保証期間	お買い上げ日より本体　1年(電池を除く)
お客様	ご住所　□□□-□□□□　TEL (　)　−		
	(フリガナ)		
	ご芳名		
販売店	店名		
	住所		
	TEL (　)　-		

この保証書はお買い上げの日から1年間、正常な使用条件で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合に無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している物(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合には、お買い上げ販売店または下記に記載してある弊社にお問い合わせください。
(1)次のような場合には、保証期間中であっても有料修理となります。
　1 誤った使用方法あるいは取り扱い上の不注意による故障や損傷。
　2 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
　3 お買い上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
　4 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。
　5 本書の提示がない場合。
　6 お買い上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。
(2)本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid in Japan.
(3)お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

P/N: 31IMV911213

商品に関するご相談、お問い合わせは、
お買上げの販売店または弊社までご連絡ください。
Tel　03−5643−1331　　受付時間　9時〜17時30分
月曜〜金曜(祭日は除く)

VICKS®ヘルスケア商品日本総代理店
日本ゼネラル・アプライアンス株式会社
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-14-8 TT-1ビルディング11F
TEL(03)5643-1331(代)　FAX(03)5643-1335

PUB.NO.82U011